

研究課題名	鈍的外傷に対する緊急 IVR における治療開始時間および予後因子の検討
研究期間	2026 年 3 月 9 日 ~ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 12 月 31 日 の間に、広島大学病院に搬送され、外傷による出血に対して放射線診断科で緊急カテーテル治療（IVR：interventional radiology）を受けられた方
研究の目的・方法	<ul style="list-style-type: none"> 研究目的： 外傷診療において、搬送されてからカテーテル治療（IVR）を開始するまでの「時間」が、その後の経過（輸血の量や生存率など）にどのような影響を与えるかを明らかにすることです。また、夜間休日の診療体制（オンコール体制など）が治療開始時間に与える影響についても検証し、今後のより良い救急診療体制の構築に役立てます。 研究の方法： 研究対象となる患者さんの診療録（カルテ）および画像データ（CT や血管造影など）から、必要な情報を抽出して解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、受傷日時、来院日時、検査・治療の実施時刻（CT、IVR 等）、バイタルサイン（血圧、脈拍等）、外傷の重症度、治療内容（塞栓部位、使用器具等）、輸血量、治療後の経過（生存・死亡、入院期間等）</p> <p>試料：なし</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院放射線診断科 准教授 中村優子</p>
利用または提供を開始する予定日	2026 年 3 月 9 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科放射線診断科 准教授 中村優子</p>
その他	本研究に関して、開示すべき利益相反はありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報

は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 放射線診断科

担当者：三谷英範

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5257